

エコマネジメント長野 健康福祉部環境方針

健康福祉部では、県の「エコマネジメント長野 環境方針」を踏まえ、省資源・省エネルギーの取組を積極的に実践するなど、部の事業活動に伴う環境への負荷の低減に努め、施策の推進に当たっても最大限に配慮し、持続可能で低炭素な環境エネルギー地域社会の実現に向けた取組を進めます。

健康福祉行政の推進に当たっては、しあわせ信州創造プラン2.0の政策推進の基本方針を念頭に、以下の項目を重点的に実践します。

1 健康福祉行政の推進における取組

- ・ 地球温暖化防止等の視点を踏まえ、健康福祉施策の立案と執行に努めます。
- ・ 社会福祉施設、医療施設等の整備に当たっては、節電効果のある設備の導入を促進します。
- ・ 所管する県有施設について、検査に使用する薬品等の管理も含め、適切かつ効率的に管理・運営を行います。

2 日常の事業活動における取組

- ・ 不要な照明の消灯や、クールビズ・ウォームビズの取組、公用車運転時のエコドライブの実践などにより、節電の徹底やエネルギー消費の効率化、抑制に努めます。
- ・ 印刷やコピーは必要最小限とするとともに、両面印刷や裏面利用の徹底により、用紙類の節約に努めます。
- ・ グリーン購入を推進するとともに、事務用品を繰り返し使用するなど、資源の節約やゴミの減量化に努めます。
- ・ 職場の整理整頓を心がけ、業務の効率と効果を高めるよう努めます。
- ・ 計画的に業務を執行し総労働時間を短縮することで、省エネルギー・省コストで高い効果を上げるよう努めます。
- ・ 上記のような取組を徹底するため、職員間で呼びかけを行います。

3 日常生活における取組

- ・ 電力需用の抑制のため、各家庭においてエアコン使用を抑えたり、使用しない部屋の消灯、打水や緑のカーテンなど、節電・省エネルギーへの取組を徹底します。
- ・ 上記のほか、職員は日頃からエコドライブの実践、マイバックの活用、地元の食材や旬の食材の購入、ゴミの減量化や分別の徹底、食べ残しを減らすなど、環境に配慮した取組を率先して行います。

4 取組状況の点検・評価

- ・ 各所属の取組状況について部内会議などで点検・評価を行い、エコマネジメント長野の効果的な運用に努めます。

この環境方針は、部内の全職員に周知するとともに、広く一般にも公表します。

平成31年4月1日

長野県健康福祉部長

大目良則